

西荻北にある【旅の本屋のまど】さんに 取材に行ってきました！

「のまど」とは、英語で「遊牧民」という意味！
Nomad = 遊牧民
前の店主さんがつけたそう。



旅の本屋のまど

〒167-0042

東京都杉並区西荻北3-12-10
司ビル1F

TEL & FAX: 03-5310-2627

営業時間: 13時 ~ 20時

定休日: 水曜日

※この取材後記は2022年11月の取材内容をまとめたものです。

Q. どのような年代に向けて営業しているのですか？

A. 年代は特に意識はしていません。色々な年代の方に来てもらえればいいですね。

Q. 本の仕入れの基準はありますか？例えば、この国で出版された本を中心に仕入れようとかはあるのでしょうか？

A. 基準は特にないです。『旅の本屋』というコンセプトなので、国内・国外問わず旅に関する本を仕入れています。

大手の本屋さんの旅行コーナーに行くと、ガイドブックや旅行記しか置いてないところもあります。でも、料理、スポーツ、演劇、文学、宗教など、外国に行った時の興味の対象は、色々なところにあると思います。普通の旅行のエッセイだけではカバーしきれないと思うので、そこをカバーできるような本も広く浅く仕入れられるようにしています。

Q. 店長さんが接客を通してよかったと思うことはありますか？

A. 旅行好きのお客さんとこの国がおすすめとか、この国に行ってきた、みたいな旅行の話をする事です。あとは、例えばお客さんから「今まで行ったところで良かった国はどこですか」と聞かれて「ここは良かったですよ」と話をする事ができます。そのお客さんが実際にその国に旅行に行ってきた、「この書店でおすすめされた国に行ってきました」と言ってもらえると『旅の本屋』をやっているのがよかったなと思います。



Q. 本屋をしていて大変だと感じたことはありますか？

A. 本が売れないことです。やはり本を手にする機会が減っているのでしょうか。昔は本から情報を得ていたと思うのですが、今はネット、SNSやYouTubeなどから様々な旅の情報を得ることができます。今の若い人は本を読むことが少なくなったので、気軽に本を買うということがあまりないのかもしれませんが。なので「本を売る」ということはなかなか大変です。

Q. 本を手にとってもらえない時や本が売れない時、お店で工夫してることや取り組んでいることはありますか。

A. SNS上で本の紹介をするなど、TwitterやInstagramを活用しています。あとは、積極的にトークイベントを開催するようにしています。やはりお店で著者の方にお話してもらってイベントを開催すると、お店のことを知ってもらえる機会になりますし、イベントに来られた方がお店で本を買うという効果もあります。

Q. 運営は1人でされているのですか？

A. 基本は私1人です。だけど、他のイベントがある時や、用事がある時は妻が店番をしています。でも、妻は妻で別に仕事をしているので、基本的には私1人で運営しています。

Q. 本棚のレイアウトに何かこだわりはありますか？

A. 本棚のレイアウトは国内と国外で棚を分け、さらにその中でエリアごとに分けています。また、うちは古本と新刊と両方置いているのですが、別々に置くのではなく、アメリカならアメリカのコーナーと一緒に置くようにしています。一応、古本の場合はシールを貼って古本だと分かるようにしています。

Q. 今行きたい国はどこですか？

A. モンゴルです。3年ぶりに海外に行くので楽しみです。
(2022年11月取材時)

Q. モンゴルに行くにあたり、一番楽しみにしていることは何ですか？

A. モンゴルは昔、社会主義の国だったので、建物や街の雰囲気にはロシアの影響が残っています。また、文字もロシアと同じキリル文字なので、街中が全て英語で表記されているのではなく、キリル文字も所々あります。

そのようなロシアの影響が残るモンゴルの雰囲気も楽しみにしています。

Q. 国内では、どの都道府県が好きですか？

A. 2021年の2月に北海道に流氷を見に行きましたが、とても良かったです。あえて寒い時期に寒いところに行くというのが面白いですね。

Q. 国際情勢についての本も置かれていますが、現地で体感したからこの本も置いてみようと思っっているのですか？

A. そういう意味もあります。旅行に行くことで体感することもあるので、そういったことも仕入れに影響します。



Q. 旅行に行く時に必ず持っていく物がありますか？

A. 国内も国外もリュック1個だけで行くのであまり荷物は持って行かないですね。最低限の下着と洋服、サンダル、スマートフォンを持っています。スマートフォンは、何かを調べたい時や地図を見たい時に使うのですが、あまりにも頼ってしまうと、旅行がGoogleに支配されているような感覚になるので、使い方が難しいなと思っています。

Q. 旅行に行く際は、事前にその国や地域について、本で調べてから現地に行くことが多いですか？

A. そうですね。最低限、挨拶ぐらいは覚えますね。ただ、今は本でなくてもInstagramで#（ハッシュタグ）やキーワードで検索をすると、お店とかを調べられるじゃないですか。SNSの使い方や旅行への活用方法が未だによくわからないので、Instagramなどの使い方を知った方がいいのかなと思っています。

Q. 10代にしておけば良かったと思うことはありますか？

A. 語学の勉強です。自分でもそれなりに英会話教室に通って勉強をしていましたが、10代から語学の勉強に取り組んでいれば、もっと話せるようになっていたのかなと思います。

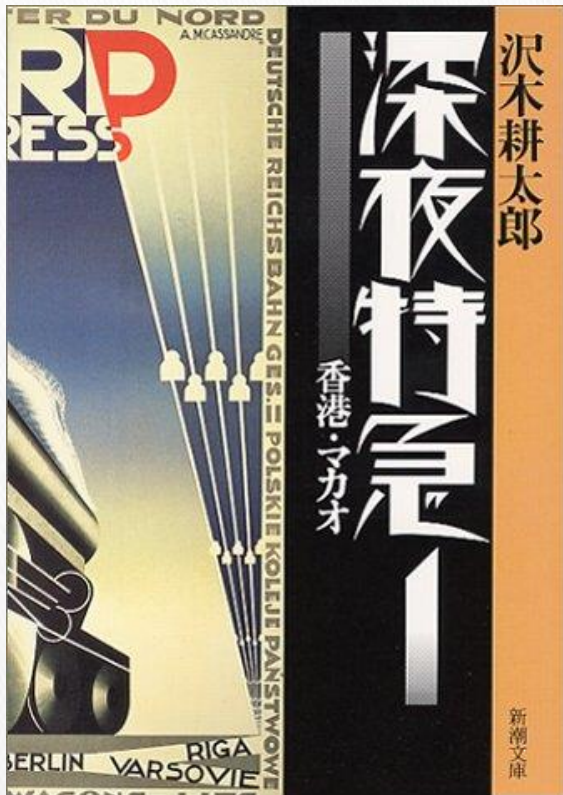
店内にはオリジナルキャラクター「旅人」のグッズが。



こちらは店主さんそっくりのお人形。似てる！



【旅の本屋のまど】さんに女子大生に
おすすめの本を聞きました！



『深夜特急』 1～6巻
著：沢木耕太郎
出版者：新潮社

[図書館所蔵情報]
渋谷キャンパス図書館

2F 文庫コーナー

1巻 B5/Sa94/1

2巻 B5/Sa94/2

3巻 B5/Sa94/3

4巻 B5/Sa94/4

5巻 B5/Sa94/5

6巻 B5/Sa94/6

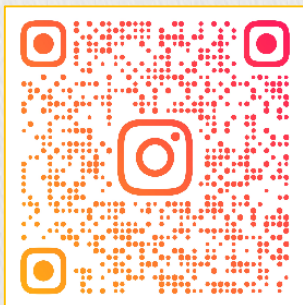


著者である沢木耕太郎さんが若い時にアジアからヨーロッパまでを1年半かけて陸路を縦断した際の旅行記です。

私は、大学生の時にこの本を読んだのがきっかけで海外に行くようになりました。出版されたのは約30年前ですが、今読んでも面白いです。

この本は、自分が実際に旅行をしてるような感覚になるくらい臨場感があるので、海外旅行に行ったことがない人でも海外へ旅行するってこういう感じなんだなとイメージができますし、なにより海外に行きたくなると思います！

『旅の本屋のまど』Instagram



『旅の本屋のまど』ホームページ
<http://www.nomad-books.co.jp/>

『旅の本屋のまど』x アカウント(旧Twitter)
https://twitter.com/nomad_books?lang=ja